

【八月の言葉（令和七年）】

①『今の自分をかえりみる。』

そういう姿勢で生きているだろうか？』

今、生きている時代はどのような時代なのか。今、生きている私はどのような私なのか。

時には、客観的な位置から、今生きている時代や人を見つめ直すことが、「これから」を考えるために必要なことではないでしょうか。

②『世の中には、いろんな「正しさ」がある。』

その正しさは、誰かを傷つけてはいないだろうか。』

私たちは、自分の思いや価値観などを他人に勧めたり、共感を求めたりすることがあります。なぜなら、それらは「良いこと・正しいこと」だと思っているからです。しかし、そうした行為は本当にその人のためになっているのでしょうか。批判や強制になっていないでしょうか。傷つけてはいないでしょうか。お互いの「正しさ」がぶつかり合う時、対立が芽生え、時には大きな争いにまで発展してしまうことがあります。自分自身が考える正しさとは何なのか、一度問うてみることも必要でしょう。